

## 16 りんどう

### 1 試験区ならびに調査対象株数

項目		必要株数(最少株数)	必要面積(最小面積) <sup>(1)</sup>
試験区(1区当り)		24株(14株)	3.36m <sup>2</sup> (1.96m <sup>2</sup> )
調査対象 (1区当り)	生育調査等	10株(5株)	1.40m <sup>2</sup> (0.70m <sup>2</sup> )
	収量調査等	10株(5株)	1.40m <sup>2</sup> (0.70m <sup>2</sup> )

(1)栽植密度は通路cm、床幅70cm、株間20cm、条間30cm、2条植え、a当たり7,100株としたときの面積

### 2 生育調査

項目		調査基準	ランク	調査	単位	最小桁
セル育苗	播種期	播種をした日	A	観察	月日	1
	発芽良否	発芽の揃い、発芽勢(極良)5~(極不良)1	C	観察	指数	0.1
定植期		定植をした日	A	観察	月日	1
定植時の苗質	対葉数	展開葉の枚数	B	測定	枚	0.5
	葉長	最長葉の長さ	C	測定	cm	0.1
	葉幅	最長葉の幅	C	測定	cm	0.1
	草丈	地際から植物体の最頂部までの長さ	B	測定	cm	1
	芽数	芽の数	A	測定	芽	1
生育量の調査 (株養成中年次)	草丈	地際より最頂部までの長さ また、着蕾後、花段頂部が葉先より上位に位置した時の、地際より花段頂部までの長さ	B	測定	cm	1
	茎径	草丈の中央節間の中央部の長径	B	測定	mm	1
	節数	地際部では節間長が中央節間長の1/3以下である場合、また、頂部では節間長が、草丈の2/3位置する節間の長さの1/3以下である場合、その上位は節に数えない	B	測定	節	1
生育段階の調査	秋の芽数	越冬前の芽数	A	測定	芽	1
	萌芽期	越冬芽の頂部が割れ始めた時期	A	観察	月日	1
	展葉期	最初対葉が完全に展開した時期	B	観察	月日	1
	側芽発生期	葉腋に側芽の発生した茎が全体の50%以上に達した時期	B	観察	月日	1
	着蕾期	側芽の先端が肥厚し、膨らんだ蕾を着生する茎が全体の50%以上に達した時期。	A	観察	月日	1
採花始 採花期 採花終 到花日数	採花始	採花 <sup>(2)</sup> 株数が定植(抽台)株数の10%に達した日	A	観察	月日	1
	採花期	採花株数が定植(抽台)株数の50%に達した日	A	観察	月日	1
	採花終	採花打ち切り日	A	観察	月日	1
	到花日数	定植日から採花期までの日数	A	算出	日	1
障害の発生程度	病虫害、生理障害	重要なものについては障害の種類毎に調査する 0:無、1:少、2:中、3:多、4:甚	A	観察	指数	1

(2)採花適期(切り前):頂花より下へ数段の蕾が開花始めから開花した頃

採花方法:株元で花茎を折り採花する

### 3 採花・収量調査

項目		調査基準	ランク	調査	単位	最小桁
aあたり	採花本数	総採花数および50cm未満と以上採花本数	A	算出	百本	1
	旬別採花数	旬別採花本数	B	算出	百本	1
	規格別採花数	北海道切花統一出荷規格による	B	算出	百本	1
	階級別採花数	切り花長50cm未満および以上で区分し50cm以上は $\geq 50$ 、 $\geq 60$ 、 $\geq 70$ 、 $\geq 80$ cmで分級	B	算出	百本	1
株当たり採花数			A	算出	本	1
障害茎割合		50cm以上採花数中の(障害茎/正常茎)×100	B	算出	%	0.1
欠株率		(欠株数/定植株数)×100	B	算出	%	0.1
未抽台株		未抽台の株数	A	算出	株	1

### 4 採花期前後における切り花特性

項目		調査基準	ランク	調査	単位	最小桁
草姿全体	切花長	切り花の基部から花の先端までの長さ	A	測定	cm	1
	切花重	切り花の調整前の重さ	B	測定	g	0.1
	調製重	切り花の調製後の重さ <sup>(3)</sup>	A	測定	g	0.1
	開花段数	花被が対に着生している節を一段とする ただし、花段頂部において、節間長が中央節間長の1/3以下である場合、その上位に着生した花段は総じて一段とする	A	観察	段	1
	総花数	総着花数(含む蕾)	C	測定	個	1
	頂部着花数	頂部着花数(含む蕾)	C	測定	個	1
	側枝本数	花冠をつけた側枝本数	B	測定	本	1
	側枝の発生位置	花冠をつけた最下位側枝の発生位置; 4:高、3:中、2:低	C	観察	指数	1
花	花色	主体となる地色、 可能ならばJHSカラーチャートのコードNO.	A	観察		
	花形	花冠と花冠裂片の形状により分類; 狭鐘型・鐘型・広鐘型、狭漏斗型・漏斗型・広漏斗型	A	観察		
	花冠長	花冠+がく筒の長さ	B	測定	cm	1
	花冠先端の直径	花冠先端の転回部分を含めた直径	B	測定	cm	1
	花冠径	花冠の直径	C	測定	cm	1
	がく筒の長さ	がく片を除くがく筒の長さ	C	測定	cm	1
	がく筒の直径	がく片を除くがく筒の直径	C	測定	cm	1
	花冠先端の転回	花冠先端の転回の有無; うち反転・反転せず・やや外反転・外反転	A	観察		
花冠の斑点の程度	5:極多、4:多、3:中、2:少、1:微・無	B	観察	指数	1	
葉	葉形	葉身の形状;線形・狭披針形・披針形・広披針形、狭楕円形・楕円形、卵円形、心臓形	A	観察		
	葉身長	草丈中間部最大葉の葉身長	B	測定	cm	1
	葉身幅	草丈中間部最大葉の葉身幅	B	測定	cm	1
	葉の着生角度	茎と葉身の角度; 4:20度、3:40度、2:60度	C	観察	指数	1
	葉色	4:濃緑、3:中、2:淡緑	B	観察	指数	1
茎	茎径	草丈の中央節間の長径	A	測定	mm	1
		5:極太、4:太、3:中、2:細、1:極細	B	観察	指数	1
日持ちの良否 <sup>(4)</sup>		良、中、不良または日数	C	観察	(日)	1

(3)調製方法:下位10cm程度の下葉を取る

(4)日持ち性:室温(20℃)における調査

